

音声ゲートウェイおよびCUBEでのCisco IOSの15.Xから17.9.Xへのアップグレード

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[その他](#)

[アップグレードパスの考慮事項](#)

[アップグレード手順](#)

[要約](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco IOS® XEソフトウェアをアップグレードするための一般的な手順、前提条件、およびベストプラクティスについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

その他

- 設定のバックアップ：アップグレードを開始する前に、必ず現在のデバイス設定をバックアップしてください。
- コンソールアクセス：アップグレード中に直接アクセスできるように、ルータへのコンソールセッションを確立します。
- リモートアクセス：音声ゲートウェイ/CUBEをリモートでアップグレードする場合は、事前

にSSH接続を確認します。

- ハードウェアの互換性の確認：デバイスがCisco IOS 17.9.x以降をサポートしていることを確認します。
- ROMMONアップグレード：17.9.x以降のROMMONの最小要件は16.12(2r)です。新しいCisco IOSバージョンをサポートするには、ROMMONをアップグレードする必要があります。
- 十分なフラッシュメモリ：新しいCisco IOSイメージを保存するのに十分なフラッシュメモリが使用できることを確認します。
- TFTPまたはその他のファイル転送サーバ：新しいCisco IOSイメージを使用できる到達可能なTFTP、FTP、またはUSBサーバを用意します。

アップグレードパスの考慮事項

- 15.Xから17.9.X以降への直接アップグレードでは、デバイスおよび現在のソフトウェアバージョンに応じて、中程度の手順が必要です。
- デバイスを17.9.X以降に移行する前に、まず16.6.2リリースにアップグレードする必要があります。
- 送信元IOS 15.X > 6.12(2r)へのROMMONアップグレード>リロード> 16.6.2へのCisco IOSアップグレード>リロード> 17.9.XへのCisco IOSアップグレード>リロード

アップグレード手順

ステップ 1：コンソール接続を確立します。

- 次の設定のターミナルエミュレータを使用して、デバイスコンソールポートに接続します。
 - 速度：9600 bps
 - データビット：8
 - パリティ：なし
 - ストップビット：1
 - フロー制御：なし



注：音声ゲートウェイ/CUBEにリモートでアクセスする場合は、ステップ1は無視してください。

ステップ 2ファイルサーバへの接続を確認します。

デバイスからTFTPまたはFTPサーバにpingを実行して、ネットワーク接続を確認します。

ステップ 3新しいCisco IOSとROMMONイメージをコピーします。

- コマンドを使用して、新しいCisco IOS XEイメージをサーバからデバイスのフラッシュメモリにコピーします。
Router# copy tftp: flash : またはcopy scp: flash:
- プロンプトが表示されたら、サーバのIPアドレス、ファイル名、およびその他の詳細を入力

します。

ステップ 4 イメージを確認します。

- コピー後、MD5チェックサムを使用してイメージの整合性を確認します (可能な場合)。
- 特権モードで、verify bootflash:<imagename.bin>を使用します。

ステップ 5 ROMMON をアップグレードします。

- アップグレードrom-monitorファイル名bootflash:<name_of_rommon_file> all:
- Router#write memory
- Router#reload
- show rom-monitorまたはshow platformコマンドを使用して、現在のROMMONバージョンを確認します。

```
Router#sh rom-monitor r0
=====
System Bootstrap, Version 17.6.1, RELEASE SOFTWARE
Copyright (c) 1994-2021 by cisco Systems, Inc.
Router#
```

```
Router#sho platform
Chassis type: ISR4451-X/K9

Slot          Type                State                Insert time (ago)
-----
0             ISR4451-X/K9        ok                   6w4d
 0/0          ISR4451-X-4x1GE     ok                   6w4d
1             ISR4451-X/K9        ok                   6w4d
2             ISR4451-X/K9        ok                   6w4d
R0            ISR4451-X/K9        ok, active           6w4d
F0            ISR4451-X/K9        ok, active           6w4d
P0            PWR-4450-AC         ok                   6w4d
P1            Unknown              empty                never
P2            ACS-4450-FANASSY    ok                   6w4d

Slot          CPLD Version        Firmware Version
-----
0             19042950            17.6.1
1             19042950            17.6.1
2             19042950            17.6.1
R0            19042950            17.6.1
F0            19042950            17.6.1
```

ステップ6 : 中間Cisco IOS XE 16.6.2にブート変数を設定します。

- 新しいイメージからブートするようにデバイスを設定します。
- Router(config)#no boot system (ブートシステム)
- Router(config)# boot system flash:<新しいイメージファイル名>
- Router(config)# boot system flash:<current-image-filename>
- 設定の保存:
- Router#write memory

ステップ 7デバイスをリロードします。

- 新しいCisco IOS XEバージョンでブートするようにデバイスをリロードします。
- Router#reload

ステップ 8アップグレードを確認します。

- リロード後、実行バージョンを確認します。
- Router#show version

ステップ9: Cisco IOS 17.9.X XE以降を対象とするようにブート変数を設定します。

- 新しいイメージからブートするようにデバイスを設定します。
- Router(config)#no boot system (ブートシステム)
- Router(config)# boot system flash:<新しいイメージファイル名>
- Router(config)# boot system flash:<current-image-filename>
- 設定の保存:
- Router#write memory

ステップ 10デバイスをリロードします。

- 新しいCisco IOS XEバージョンでブートするようにデバイスをリロードします。
- Router#reload

ステップ 11アップグレードを確認します。

- リロード後、実行バージョンを確認します。
- Router#show version

```
#sh ver
Cisco IOS XE Software, Version V179_3A_MTH_ESM5_1
Cisco IOS Software [Cupertino], ISR Software (X86_64_LINUX_IOSD-UNIVERSALK9-M), Version 17.9.3a, CUST-SPECIAL:V179_3A_MTH_ESM5_1
This software is supported for a limited time under special agreement with Cisco Systems, Inc.
Copyright (c) 1986-2023 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 30-Oct-23 16:12 by mcpre

Cisco IOS-XE software, Copyright (c) 2005-2023 by cisco Systems, Inc.
All rights reserved. Certain components of Cisco IOS-XE software are
licensed under the GNU General Public License ("GPL") Version 2.0. The
software code licensed under GPL Version 2.0 is free software that comes
with ABSOLUTELY NO WARRANTY. You can redistribute and/or modify such
GPL code under the terms of GPL Version 2.0. For more details, see the
documentation or "License Notice" file accompanying the IOS-XE software,
or the applicable URL provided on the flyer accompanying the IOS-XE
software.

ROM: 17.6.1

BGL-Voice-02ECFA9 uptime is 6 weeks, 4 days, 21 hours, 39 minutes
Uptime for this control processor is 6 weeks, 4 days, 21 hours, 40 minutes
System returned to ROM by PowerOn
System image file is "bootflash:packages.conf"
Last reload reason: PowerOn
```

要約

- デバイス固有のアップグレードパスと前提条件を必ず確認してください。
- モデル固有のCisco IOSイメージとROMMONイメージを使用していることを確認してください。
- 開始する前に、設定をバックアップし、接続を確認します。
- 新しいCisco IOS XEイメージをコピー、確認、およびアクティブ化するには、適切なコマンドを使用します。
- リロード後に、実行中のCisco IOS XEバージョンを確認して、アップグレードを確認します。
- Bug ID [CSCvm54595](#) : リロード後のSSH接続の喪失を確認してください。このバグを考慮して事前準備を行います。
- Bug ID [CSCwj23735](#): 「rtp port range」設定がCUBEのリロード後に失われました。回避策は、CUBEのリロード後にこのコマンドを手動で再入力するか、またはルータをバージョン17.12.Xなどの修正済みリリースにアップグレードすることです。

回避策 : EEMスクリプトの実装。

- Bug Cisco Bug ID [CSCwm32946](#) : このバグにより、CUBEがFAX(T.38)の再招待のコールレック間で488 Media Inacceptable response(MRA)のリレーまたは受け渡しに失敗します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。